

# 災害の概況と推移

# 火 災

平成 27 年中に広島市消防局管内で発生した火災は 305 件で、これにより 20 人の死者と 64 人の負傷者が発生した。また、損害額は合計で 4 億 4,883 万 9 千円、建物の焼損面積は 5,188 m<sup>2</sup>であった。

火災種別で見ると、「建物火災」が 198 件で約 6 割を占めており、その損害額は損害額全体の約 98%となっている。

区 分 \ 年 別	平成 27 年	平成 26 年	増 減
火 災 件 数 (件)	305	378	△73
建物火災	198 (64.9%)	229 (60.6%)	△31
林野火災	5 (1.6%)	8 (2.1%)	△3
車両火災	19 (6.2%)	38 (10.1%)	△19
船舶火災	0 (0.0%)	1 (0.3%)	△1
その他の火災	83 (27.2%)	102 (27.0%)	△19
損 害 額 (千円)	448,839	635,924	△187,085
建物焼損面積 (m <sup>2</sup> )	5,188	5,700	△512
林野焼損面積 (a)	9	86	△77
死 者 (人)	20	30	△10
負 傷 者 (人)	64	65	△1

## 過去 10 年間の火災件数等の推移

年 別	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年
火 災 件 数	452	543	548	506	514	479	395	420	378	305
損 害 額 (10 万円)	10,106	8,176	10,158	8,140	6,003	5,163	4,940	7,898	6,359	4,488
建物焼損面積 (m <sup>2</sup> )	7,125	8,451	5,654	8,326	5,545	5,804	3,953	7,311	5,700	5,188
死 者 (人)	19	14	16	13	12	11	12	9	30	20
負 傷 者 (人)	90	84	96	65	62	55	60	50	65	64

注) 平成 19 年は、直轄・受託地区の 1～3 月分を含む。

平成 27 年中の火災を出火原因別にみると、「放火・放火の疑い」が 50 件（16.4%）で最も多く、次いで「たばこ」が 48 件（15.7%）、「こんろ」が 32 件（10.5%）となっている。

出火原因の推移をみると、「放火・放火の疑い」による火災は、昭和 61 年から平成 25 年まで 29 年連続で出火原因の第 1 位となっていたが、平成 26 年は出火原因の第 2 位となった。しかし、平成 27 年は「放火・放火の疑い」による火災が再び出火原因の第 1 位となった。

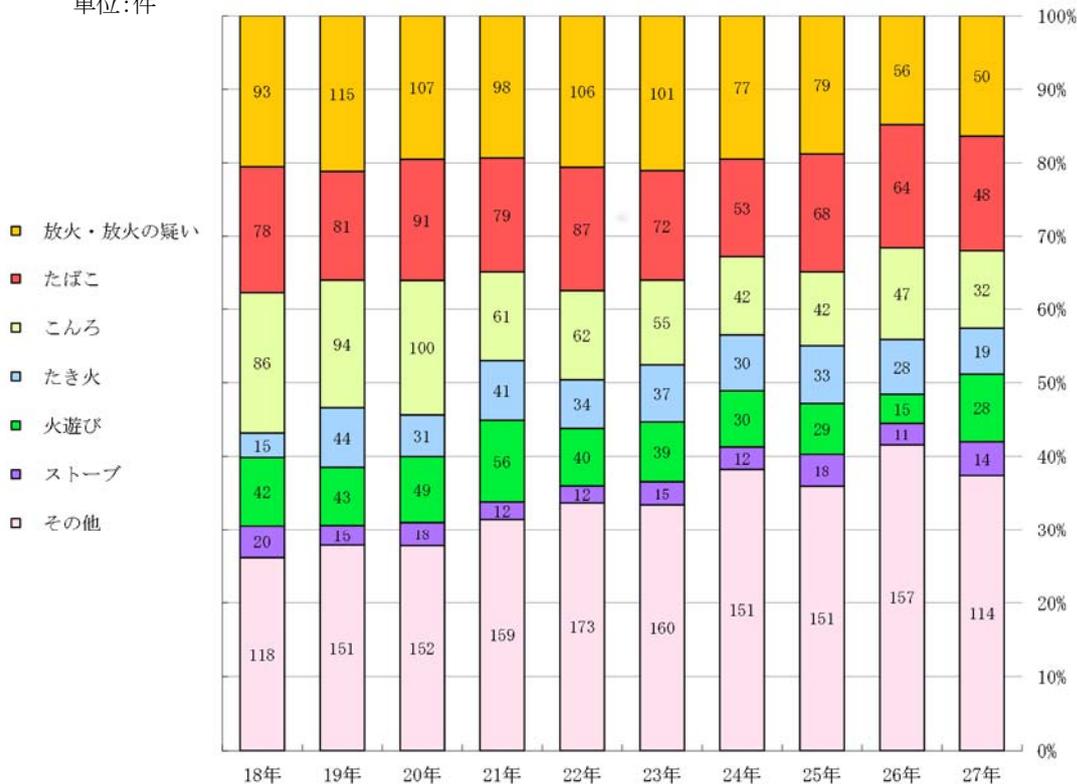
### 出火原因別火災件数

（平成 27 年）

区分	総数	放火・放火の疑い	たばこ	こんろ	火遊び	たき火	ストーブ	その他
件数	305	50	48	32	28	19	14	114
構成比	100%	16.4%	15.7%	10.5%	9.2%	6.2%	4.6%	37.4%

### 過去 10 年間の火災原因の構成比

単位：件



注) 平成 19 年は、直轄・受託地区の 1～3 月分を含む。

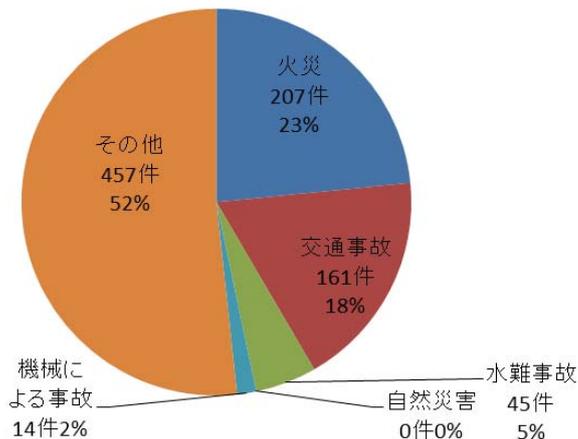
# 救 助

## 平成27年中の救助出動件数

平成27年中の救助出動件数は、受託地区を含め 884 件で、前年の 979 件と比較して 95 件の減少となった。

出動種別をみると、「火災」が 207 件で最も多く、全体の約 2 割(23%)を占め、続いて「交通事故」が 161 件(18%)となっており、この両者で全体の約 4 割を占めている。

過去 10 年間の推移をみてみると、出動件数は平成 18 年の 670 件に対し約 32%の増加となっている。



過去 10 年間の救助隊出動件数等の推移

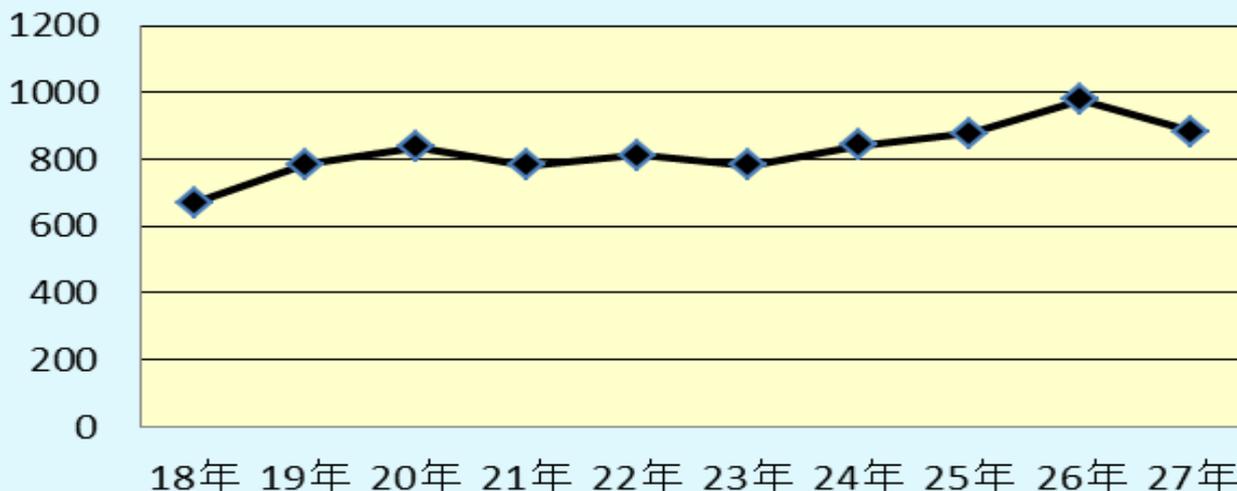
単位:件

区分	年別	平成 18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年
出 動 種 別	出 動 件 数	670 (100)	786 (117)	836 (125)	781 (117)	812 (121)	782 (117)	841 (126)	878 (131)	979 (146)	884 (132)
	火 災	242 (100)	275 (114)	290 (120)	237 (98)	224 (93)	221 (91)	192 (79)	207 (86)	195 (81)	207 (86)
	交 通 事 故	154 (100)	198 (129)	185 (120)	182 (118)	192 (125)	180 (117)	184 (119)	159 (103)	176 (114)	161 (105)
	水難事故	51 (100)	38 (75)	39 (76)	48 (94)	58 (114)	48 (94)	27 (53)	45 (88)	33 (65)	45 (88)
	機械による事故	12 (100)	20 (167)	16 (133)	9 (75)	13 (108)	9 (75)	14 (117)	14 (117)	12 (100)	14 (117)
	そ の 他	211 (100)	255 (121)	306 (145)	305 (145)	325 (154)	324 (154)	424 (201)	453 (215)	563 (267)	457 (217)

備考

- 1 ( )内は、平成 18 年を指数 100 として表した数値である。
- 2 平成 19 年(1 月～3 月含む。)以降は、消防事務受託市町の件数を含む。

過去 10 年間の救助出動件数の推移



## 救 急

平成 27 年中の救急出動件数は 57,746 件で、前年と比較すると 1,701 件(3.0%)増加し、搬送人員は 48,703 人で、1,301 人(2.7%)の増加であった。これを 1 日に平均すると約 158 件出動し、約 133 人搬送したこととなり、約 9 分に 1 件の割合で救急出動要請がされたこととなる。

事故種別でみると、「急病」が 35,215 件で最も多く、全体の約 6 割を占めており、前年と比較して 1,850 件の増加となった。次いで多いのは「一般負傷」で 8,257 件、次いで「交通事故」の 5,653 件となっている。前年と比較して「一般負傷」は増減なし、「交通事故」は 189 件の減少となっている。

平成 12 年 4 月 1 日からはヘリコプターによる救急搬送業務を開始しており、平成 27 年中は 49 件救急出動し、26 人の搬送を行っている。

区分 \ 年別	平成 27 年	平成 26 年	増減	増減率
出 動 件 数 ( 件 )	57,746 (100.0%)	56,045 (100.0%)	1,701	3.0%
急 病	35,215 (61.0%)	33,365 (59.5%)	1,850	5.5%
一般負傷	8,257 (14.3%)	8,257 (14.7%)	0	0.0%
交通事故	5,653 ( 9.8%)	5,842 (10.4%)	△189	△3.2%
転院搬送	5,332 ( 9.2%)	5,077 ( 9.1%)	255	5.0%
自損行為	606 ( 1.0%)	640 ( 1.1%)	△34	△5.3%
運動競技	373 ( 0.6%)	370 ( 0.7%)	3	0.8%
労 災	402 ( 0.7%)	412 ( 0.7%)	△10	△2.4%
そ の 他	1,908 ( 3.4%)	2,082 ( 3.7%)	△174	△8.4%
搬 送 人 員 ( 人 )	48,703	47,402	1,301	2.7%

### 過去 10 年間の救急件数の推移

区分 \ 年別	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年
出 動 件 数 ( 件 )	43,333 (100)	50,288 (116)	48,048 (111)	48,189 (111)	51,565 (119)	52,616 (121)	53,500 (123)	55,448 (128)	56,045 (129)	57,746 (133)
急 病	24,431 (100)	28,699 (117)	27,250 (112)	27,572 (113)	29,894 (122)	30,928 (127)	31,545 (129)	32,856 (134)	33,365 (137)	35,215 (144)
一般負傷	5,554 (100)	6,738 (121)	6,720 (121)	6,409 (115)	7,119 (128)	7,346 (132)	7,655 (138)	7,972 (144)	8,257 (149)	8,257 (149)
交通事故	5,752 (100)	6,738 (117)	6,154 (107)	6,209 (108)	6,263 (109)	6,200 (108)	6,041 (105)	6,202 (108)	5,842 (102)	5,653 (98)

備考

1 ( )内は平成 18 年を指数 100 として表した数値である。

2 平成 19 年(1 月～3 月含む。)は、消防事務受託市町の件数を含む。